

第2号様式(第10条関係)

令和 6 年 4 月 30 日

沖縄県議会議長 殿

沖縄県議会議員 渡久地 修



令和5年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第1項に基づき、別紙のとおり令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和5年度 政務活動費収支報告書

議員名 渡久地 修

1 収 入 政務活動費 1,800,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	8,299	モノレール代、ガソリン代
研 修 費		
広聴広報費	1,185,815	議会だより印刷、郵送に係る経費
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費	99,897	書籍、新聞代等
事 務 所 費	380,476	事務所家賃、光熱費
事 務 費	175,680	電話料金、複合機リース代、文具代、ネットプロバイダ料等
人 件 費		
合 計	1,850,167	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 0 円

経費区分別支出一覧表

経費区分 調査研究費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
9/20	離島医療組合事務所、久米島病院視察調査 往復モノレール	640	全額	640
A. 小計				640
B. (ガソリン代総額 63,378円 - 費用弁償(交通費)総額 48,060円) × 1/2				7,659
C. 支払証明書計				
充当合計(A+B+C)				8,299

年月日：2023年(R5)9月20日

調査研究費

充当額：¥640

内容：離島医療組合事務所、久米島病院視察調査の為
(儀保駅 ⇄ 那覇空港駅 往復)

充当割合：政務活動に活用する為、全額充当

領収証

久米島医療組合事務所

ご利用日付 2023年9月20日 時刻 08時22分

券番号：1009

取引内容：乗車券類購入 金 340円

伝票番号：32991 沖縄都市モノレール株式会社

ご利用ありがとうございます。 儀保 01券発行

領収証

久米島医療組合事務所

ご利用日付 2023年9月20日 時刻 17時24分

券番号：0271

取引内容：乗車券類購入 金 300円

伝票番号：59431 沖縄都市モノレール株式会社

ご利用ありがとうございます。 那覇空港 02券発行

2023年 (R5) 5月2日

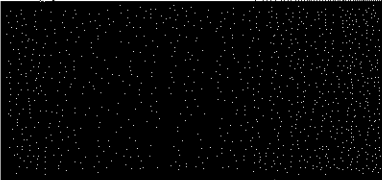
2023年 (R5) 5月5日



納品書(領収書)

2023年05月02日 14:39

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-07
31.77L (152円)
¥4,828
(QRクーポン値引 5円 - ¥158)
値引後単価 147円
¥4,670
(消費税10%対象 ¥4,670)
消費税等 ¥467
合言十 ¥5,137
お預り ¥10,000
お釣り ¥4,863



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

電話：155(11)04(1)0000 57700000

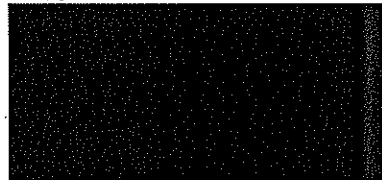
合資会社南風原油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
サイトNo 1094-04
FAXNo 4131-4133
099首里SS 2023/05/03



納品書(領収書)

2023年05月05日 14:33

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-10
6.19L (152円)
¥939
(QRクーポン値引 5円 - ¥30)
値引後単価 147円
¥909
(消費税10%対象 ¥909)
消費税等 ¥91
合言十 ¥1,000
お預り ¥1,000
お釣り ¥0



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

電話：155(11)04(1)0000 57700000

合資会社南風原油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
サイトNo 3048-05
FAXNo 1146-1148
099首里SS 2023/05/06

2023年 (R5) 5月 21日

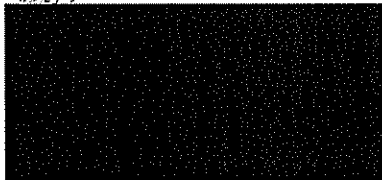
2023年 (R5) 5月 31日



納品書(領収書)

2023年05月21日 09:41

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-11
2.811 152円
¥427
(QRコード値引) 5円 - ¥14
値引後単価 147円
¥413
(消費税10%対象) ¥413
消費税等 ¥41
合計 ¥454
お預り ¥905
お釣り ¥451



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

販売店: 南風原石油 首里SS

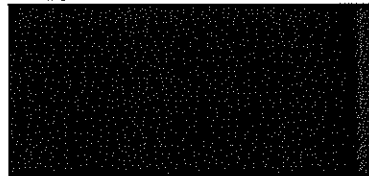
株式会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS 047053
サイトNo 5566-06
FAXNo 4833-4835
099首里SS 2023/05/21



納品書(領収書)

2023年05月31日 09:45

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-18
31.32L 153円
¥4,791
(QRコード値引) 5円 - ¥156
値引後単価 148円
¥4,635
(消費税10%対象) ¥4,635
消費税等 ¥464
合計 ¥5,099
お預り ¥10,000
お釣り ¥4,901



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

販売店: 南風原石油 首里SS

株式会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
サイトNo 4727-09
FAXNo 6382-6384
099首里SS 2023/05/31

2023年(R5)6月20日

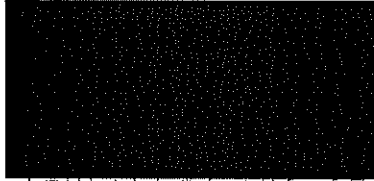
2023年(R5)7月6日



納品書(領収書)

2023年06月20日 08:24

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラー ガソリン P-06
6.39L 155円
¥990
(QRコード値引 5円) -¥31
値引後単価 (150円)
¥959
(消費税10%対象) ¥959
消費税等 ¥96
合計 ¥1,055
お預り ¥10,000
お釣り ¥8,945



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

※Tカードの発行手数料は別途です。

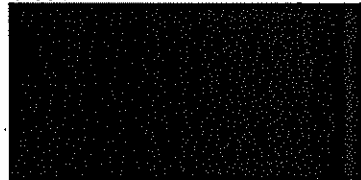
合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
サイトNo 3542-03
サイトNo 2508-2510
099首里SS 2023/06/20



納品書(領収書)

2023年07月06日 09:05

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラー ガソリン P-02
31.48L 156円
¥4,910
(QRコード値引 5円) ¥157
値引後単価 151円
¥4,753
(消費税10%対象) ¥4,753
消費税等 ¥475
合計 ¥5,228
お預り ¥10,000
お釣り ¥4,772



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

※Tカードの発行手数料は別途です。

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
サイトNo 7248-01
サイトNo 0424-0426
099首里SS 2023/07/06

2023年 (R5) 8月 11日

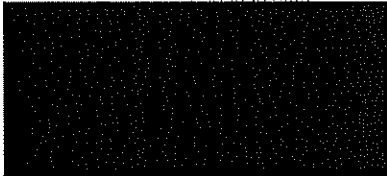
2023年 (R5) 8月 12日



納品書(領収書)

2023年08月11日 13:45

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-10
2.84L (164円)
¥466
(QRコード値引 5円 -¥14)
値引後単価 (159円)
¥452
(消費税10%対象 ¥452)
消費税等 ¥45
合計 ¥497
お預り ¥1,000
お釣り ¥503



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金/クレジットカード/現金書留/現金/現金書留

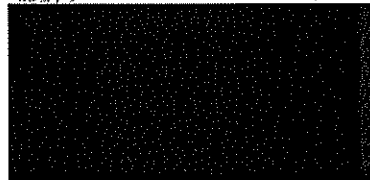
合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
サイトNo 7056-05
〒9063473-3475
099首里SS 2023/08/12



納品書(領収書)

2023年08月12日 15:55

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-10
35.13L 164円
¥5,761
(QRコード値引 5円 -¥175)
値引後単価 (159円)
¥5,586
(消費税10%対象 ¥5,586)
消費税等 ¥559
合計 ¥6,145
お預り ¥9,000
お釣り ¥2,855



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金/クレジットカード/現金書留/現金/現金書留

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
サイトNo 7987-05
〒906939-6941
099首里SS 2023/08/13

2023年(R5)8月30日

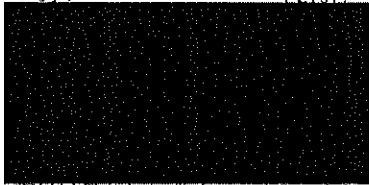
2023年(R5)10月3日



納品書(領収書)

2023年08月30日 14:12

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-18
21.88L 168円
¥3,675
(QRクーポン値引) 5円 -¥109
値引後単価 163円
¥3,566
(消費税10%対象) ¥3,566
消費税等 ¥357
合計 ¥3,923
お預り ¥6,000
お釣り ¥2,077



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

電話でお客様のご質問・ご要望にお答えいたします。

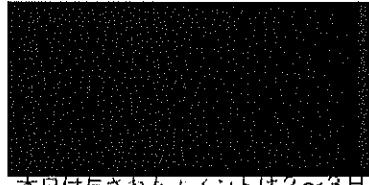
合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
EメールNo 7611-09
FAXNo6016-6018
099首里SS 2023/08/31



納品書(領収書)

2023年10月03日 18:08

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-18
31.97L (163円)
¥5,210
(QRクーポン値引) 5円 -¥159
値引後単価 158円
¥5,051
(消費税10%対象) ¥5,051
消費税等 ¥505
合計 ¥5,556
お預り ¥6,000
お釣り ¥444



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

電話でお客様のご質問・ご要望にお答えいたします。

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
EメールNo 2684-09
FAXNo7054-7056
099首里SS 2023/10/04

2023年(R5)10月22日

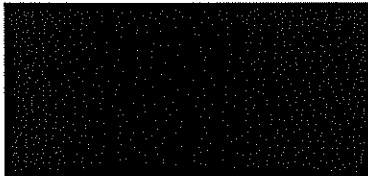
2023年(R5)11月1日



納品書(領収書)

2023年10月22日 11:17

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-07
2.86L 153円
¥437
(QRコード値引 5円 -¥14)
値引後単価 148円
¥423
(消費税10%対象 ¥423)
消費税等 ¥42
合計 ¥465
お預り ¥554
お釣り ¥89



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金引当金(引当金)の繰上り(繰下り)はございません。

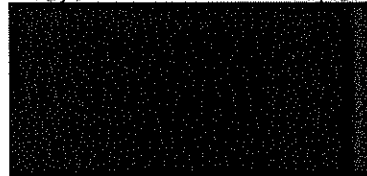
合資会社南風原油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号:T9360003002528
サイトNo 1324-04
FAXNo2580-2582
099首里SS 2023/10/22



納品書(領収書)

2023年11月01日 09:00

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-06
30.98L 151円
¥4,677
(QRコード値引 5円 -¥154)
値引後単価 146円
¥4,523
(消費税10%対象 ¥4,523)
消費税等 ¥452
合計 ¥4,975
お預り ¥10,000
お釣り ¥5,025



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金引当金(引当金)の繰上り(繰下り)はございません。

合資会社南風原油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号:T9360003002528
サイトNo 7732-03
FAXNo5799-5801
099首里SS 2023/11/01

2023年(R5)12月7日

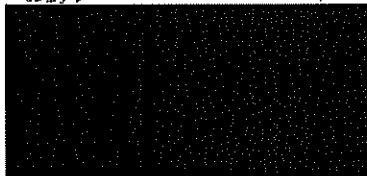
2023年(R5)12月31日



納品書(領収書)

2023年12月07日 19:47

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-07
30.55L 154円
¥4,704
(QRクーポン値引 5円 -¥152)
値引後単価 (149円) ¥4,552
(消費税10%対象 ¥4,552)
消費税等 ¥455
合計 ¥5,007
お預り ¥10,000
お釣り ¥4,993



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金で支払った場合の領収書は発行されません。

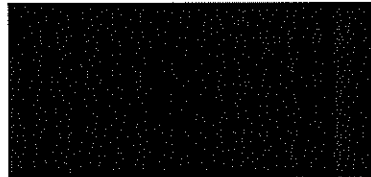
合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
レシートNo 3377-04
デ-7No1474-1476
099首里SS 2023/12/08



納品書(領収書)

2023年12月31日 12:05

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-11
24.21L *
(171円) ¥4,140
(QRクーポン値引 5円 -¥121)
値引後単価 (166円) ¥4,019
合計 ¥4,019
(消費税10%対象 ¥4,019)
内消費税等 ¥365
お預り ¥10,000
お釣り ¥5,981



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金で支払った場合の領収書は発行されません。

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
レシートNo 5001-06
デ-7No7885-7887
099首里SS 2023/12/31

2023年 (R5) 12月 31日

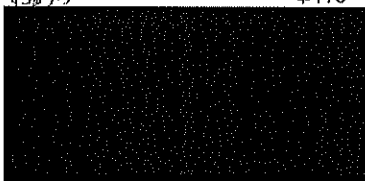
2024年 (R6) 1月 21日



納品書(領収書)

2023年12月31日 12:21

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラー ガソリン P-10
5.12L *
171円 ¥875
(QRコード値引) 5円 -¥25)
値引後単価 (166円) ¥850
合計 ¥850
(消費税10%対象 ¥850
内消費税等 ¥77)
お預り ¥1,026
お釣り ¥176



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

099首里SS

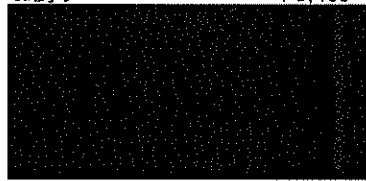
合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
サイトNo 5020-05
テレNo 7951-7953
099首里SS 023/12/31



納品書(領収書)

2024年01月21日 10:14

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-07
5.09L *
172円 ¥875
(QRコード値引) 5円 -¥25)
値引後単価 167円 ¥850
合計 ¥850
(消費税10%対象 ¥850
内消費税等 ¥77)
お預り ¥10,000
お釣り ¥9,150



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

099首里SS

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
サイトNo 3809-04
テレNo 5009-5011
099首里SS 2024/01/21

2024年(R6)1月26日

2024年(R6)1月28日



納品書(領収書)

2024年01月26日 09:20

納品書(領収書)

2024年01月28日 13:32

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-07
2.96L *

(172円)	¥508
(QRクーポン値引 5円)	- ¥14
値引後単価 167円	¥494
合計	¥494
(消費税10%対象)	¥494
内消費税等	¥45
お預り	¥5,000
お釣り	¥4,506

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-18
32.03L *

172円	¥5,509
(QRクーポン値引 5円)	- ¥160
値引後単価 167円	¥5,349
合計	¥5,349
(消費税10%対象)	¥5,349
内消費税等	¥486
お預り	¥10,000
お釣り	¥4,651

本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

現金とお預り(お釣り)の領収書は発行して頂きます。

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
サイトNo 6552-04
FAXNo4737-4739
099首里SS 2024/01/26

本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下さ
い。

現金とお預り(お釣り)の領収書は発行して頂きます。

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
サイトNo 1234-09
FAXNo0898-0900
099首里SS 2024/01/29

2024年(R6)2月26日

2024年(R6)3月10日



納品書(領収書)

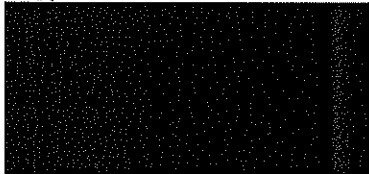
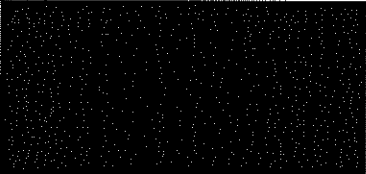
2024年02月26日 19:39

納品書(領収書)

2024年03月10日 14:22

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-03
30.54L *
170円 ¥5,191
(QRクーポン値引 5円 -¥152)
値引後単価 165円 ¥5,039
合計 ¥5,039
(消費税10%対象 ¥5,039
内消費税等 ¥458)
お預り ¥10,000
お釣り ¥4,961

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-11
5.38L *
(170円) ¥913
(QRクーポン値引 5円 -¥26)
値引後単価 165円 ¥887
合計 ¥887
(消費税10%対象 ¥887
内消費税等 ¥81)
お預り ¥887
お釣り ¥0



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsita.jpにてご確認下さ
い。

電子決済(銀行振込)の領収書は発行できません

本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsita.jpにてご確認下さ
い。

電子決済(銀行振込)の領収書は発行できません

合資会社南風原油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号:T9360003002528
サイトNo 5851-02
テナメNo9245-9247
099首里SS 2024/02/27

合資会社南風原油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号:T9360003002528
サイトNo 6225-06
テナメNo5924-5926
099首里SS 2024/03/11

5.926

2024年(R6)3月11日

2024年(R6)3月30日



納品書(領収書)

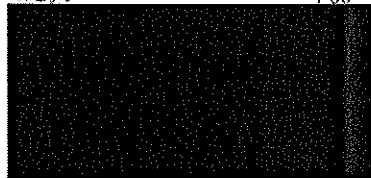
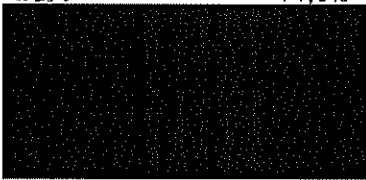
2024年03月11日 07:58

納品書(領収書)

2024年03月30日 15:39

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-07
2.76L *
(170円) ￥468
(QRクーポン値引 5円) -￥13)
値引後単価 165円 ￥455
合計 ￥455
(消費税10%対象 ￥455
内消費税等 ￥41)
お預り ￥2,000
お釣り ￥1,545

売上
現金フリー 様 M
47053-900000-959
現金フリー
車両番号 実車番
0026-00
レギュラーガソリン P-11
5.42L *
170円 ￥921
(QRクーポン値引 5円) -￥27)
値引後単価 165円 ￥894
合計 ￥894
(消費税10%対象 ￥894
内消費税等 ￥81)
お預り ￥950
お釣り ￥56



本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金でご購入の場合は領収書は発行されません。

現金でご購入の場合は領収書は発行されません。

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
サイトNo 6714-04
FAXNo7744-7746
099首里SS 2024/03/11

合資会社南風原石油 首里SS
沖縄県 那覇市首里桃原町1-16
TEL:098-885-2222 SS-047053
登録番号: T9360003002528
サイトNo 4750-06
FAXNo3438-3440
099首里SS 2024/03/31

統一様式—①

経費区分別支出一覧表

経費区分 広聴広報費

日付	使 途 内 容	支出額	充当割合	充当額
4/12	「県議団だより 4月号外」郵送代金	157,196	全額	157,196
4/26	「とぐちおさむ県政報告だより 105号」郵送代金	168	96.3/100	161
5/1	「とぐちおさむ県政報告だより 105号」郵送代金	84	96.3/100	80
5/15	「とぐちおさむ県政報告だより 105号」郵送代金	84	96.3/100	80
8/16	「とぐちおさむ県政報告だより 106号」郵送代金	158,924	99.5/100	158,129
9/6	「とぐちおさむ県政報告だより 106号」印刷代	179,080	99.5/100	178,184
10/16	「とぐちおさむ県政報告だより 106号」郵送代金	94	99.5/100	93
11/10	「とぐちおさむ県政報告だより 107号」郵送代金	160,246	98.2/100	157,361
12/20	県政報告会お知らせハガキ代	4,410	66.1/100	2,915
1/25	「とぐちおさむ県政報告だより 108号」印刷代	217,800	99.2/100	216,057
1/29	「とぐちおさむ県政報告だより 108号」郵送代金	172,354	99.2/100	170,975
2/7	「とぐちおさむ県政報告だより 108号」ポスティング代	145,750	99.2/100	144,584
A. 小計				1,185,815
B. 支払証明書計				
広聴広報費 充当合計		/	/	1,185,815

年月日：2023年(R5)4月12日

広聴広報費

充当額：**¥157,196**

内容：「日本共産党県議団だより 4月号外」郵送代金

『沖縄が再び戦場にならないよう、軍事力による抑止ではなく、外交と対話による平和の構築を』

充当理由：政務活動に活用するため全額充当

領収書

✓ 藤久地 様

[別納引受]		
区内特別特(定)BC @62	1,319通	¥81,778
小計		¥81,778
区内特別特(定)BC		
@70	590通	¥41,300
小計		¥41,300
区内特別特(定)BC		
@70	413通	¥28,910
小計		¥28,910
第一種定形		
@84	62通	¥5,208
小計		¥5,208
郵便物引受合計通数	2,384通	
課税計(10%)		¥157,196
(内消費税等)		¥14,290
非課税計		¥0
合計	✓	¥157,196
お預り クレジット		¥157,196



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2023年4月12日 17:04
発行No. 230412A5608 端P64箱58
連絡先：那覇中央郵便局
TEL: 0570-005-396

年月日：2023年（R5）4月26日

広聴広報費

充当額：**¥161**

内容：「とぐちおさむ県政報告だより 105号」郵送代金
充当可能割合： $¥168 \times 96.3\% = ¥161$
(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領収書

渡辺地修 様

[証紙切手引受]	
第一種定形 ⑧84	19.5g ¥168
2通	

小計	¥168

郵便物引受合計通数	2通
課税計(10%)	¥168
(内消費税等)	¥15
非課税計	¥0

合計	¥168
口計	
お預り金額	¥200
おつり	¥32



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2023年4月26日 10:22
発行No. 230426A0832 端N38箱02
連絡先：沖縄県庁内郵便局
TEL:098-866-1120

年月日：2023年（R5）5月1日

広聴広報費

充当額：¥80

内容：「とくちおさむ県政報告だより 105号」郵送代金
充当可能割合： $¥84 \times 96.3\% = ¥80$
（広報誌充当可能割合確認票を参照）

領収書

藤下地 修 様

〔証紙切手引受〕	
第一種定形	19.5g
⑧84	1通 ¥84
-----	-----
小計	¥84
郵便物引受合計通数	1通
課税計（10%）	¥84
（内消費税等）	¥7
非課税計	¥0
-----	-----
合計	¥84
お預り金額	¥100
おつり	¥16



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2023年5月1日 9:54
発行No. 230501A1058 端N38箱02
連絡先：沖縄県庁内郵便局
TEL:098-866-1120

年月日：2023年 (R5) 5月 15日

広聴広報費

充当額：¥80

内容：「とくちおさむ県政報告だより 105号」郵送代金
充当可能割合：¥84 × 96.3% = ¥80
(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領収書

濱下地 修 様

[証紙切手引受]	
第一種定形 @84	17.5g ¥84
1通	

小計	¥84

郵便物引受合計通数	1通
課税計 (10%)	¥84
(内消費税等)	¥7)
非課税計	¥0

合計	¥84
お預り金額	¥84



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2023年 5月15日 15:05
発行No. 230515A1555 端N38箱02
連絡先：沖縄県庁内郵便局
TEL:098-866-1120

年月日：2023年(R5)8月16日

広聴広報費

充当額：¥158,129

内容：「とくちおさむ県政報告だより 106号」郵送代金
充当可能割合：¥158,924 × 99.5% = ¥158,129
(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領収書

源久地 修 様

[別納引受]		
区内特別特(定)BC		
062	1,313通	¥81,406
小計		¥81,406
区内特別特(定)BC		
070	608通	¥42,560
小計		¥42,560
区内特別特(定)BC		
070	419通	¥29,330
小計		¥29,330
第一種定形		
084	67通	¥5,628
小計		¥5,628
郵便物引受合計通数	2,407通	
課税計(10%)	¥158,924	
(内消費税等)	¥14,447	
非課税計	¥0	
合計		¥158,924
お預り金額		¥160,000
おつり		¥1,076

印紙税申告納

付につき廻町

税務署承認済



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
取扱日時：2023年8月16日 12:19
発行No. 230816A0913 端N71箱11
連絡先：那覇中央郵便局
TEL:0570-005-396

年月日：2023年(R5)9月6日

広聴広報費

充当額：¥178,184

内容：「とくちおさむ県政報告だより106号」印刷代

充当可能割合： $¥179,080 * 99.5\% = ¥178,184$

(広報誌充当可能割合確認票を参照)

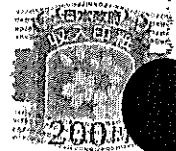
領 収 証

No 001121

得意先コード	お 得 意 先 名
	殺火地 脩 殿

2023年9月6日

¥ 179,080



但しとくちおさむ県政報告だより22,000部
上記金額正に領収致しました。

第106号2023.06.27
22,000部

内 訳	現 金	
	小 切 手	
	銀行振込	
	手 形	
	相 殺	

担当者印	取扱者印

あけほの印刷株式会社

〒900-0016 沖縄県那覇市前島3-1-17 F2
TEL (098) 861-9145
FAX (098) 861-9148

年月日：2023年(R5)10月16日

広聴広報費

充当額：¥93

内容：「とくちおさむ県政報告だより 106号」郵送代金
充当可能割合： $¥94 \times 99.5\% = ¥93$
(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領収書

源久地修 様

[証紙切手引受]	
第一種定形 @94	26.5g 1通 ¥94

小計	¥94

郵便物引受合計通数	1通
課税計(10%)	¥94
(内消費税等(10%))	¥8
非課税計	¥0

合計	¥94
お預り金額	¥100
おつり	¥6



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時：2023年10月16日 15:18
発行No. 231016A7864 端N38箱02
連絡先：沖縄県庁内郵便局
TEL:098-866-1120

年月日：2023年（R5）11月10日

広聴広報費

充当額：¥157,361


内容：「とくちおさむ県政報告だより 107号」郵送代金

充当可能割合： $¥160,246 \times 98.2\% = ¥157,361$

（広報誌充当可能割合確認票を参照）

領 収 書

JP 郵便局

(住所氏名) 那覇市首里赤平町1-4-1 渡久地 内丸 様		領収内訳 現金 160,246円		
領収金額		郵便切手 郵便小切手		
億 千 百 十 万 千 百 十 円		円		
F 160 246		円		
内 訳		8% (内消費税) 円		
		10% (内消費税) 160,246円		
		非課税 円		
(販売等内訳)		料金受取人払料金 円		
切手 円		着払運賃 円		
郵便(年費・年費以外) 円		通関料 円		
収入印紙 円		カタログ販売 円		
販売品 円		未払/不足料金 円		
別納料金 160,246円				
料金計簽予納金 円				
上記のとおり、領収いたしました。2023年11月10日		領収日付印		
日本郵便株式会社 〒100-8792 東京都千代田区大手町二丁目3番1号 登録番号：T1010001112577 お問い合わせ電話番号 098-832-7602		取扱局 那覇中央 郵便局		
備考		通数 2,424 通		
		割引額		
		担当者印		

ユ07001 (2023・SCP)

金額を訂正したものは無効です

A004202-01

年月日：2023年(R5)12月20日

広聴広報費

充当額：¥2,915

内容：県政報告会お知らせハガキ

充当可能割合： $¥4,410 \times 66.1\% = ¥2,915$

(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領収書

河野大地様

[販売]	
通常葉書インク (63円)	
63円 70枚	¥4,410

小計	¥4,410

課税計(10%)	¥0
(内消費税等(10%))	¥0
非課税計	¥4,410

△計	¥4,410
合計	¥4,410
お預り金額	¥5,010
おつり	¥600



〒100-8792 日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町2-3-1
登録番号 T1010001112577
取扱日時：2023年12月20日 13:43
発行No. 231220J6580 端N38箱02
連絡先：沖縄県庁内郵便局
TEL:098-866-1120

年月日：2024年（R6）1月25日

広聴広報費

充当額：¥216,057

内容：「とぐちおさむ県政報告だより 108号」印刷代
充当可能割合： $¥217,800 \times 99.2\% = ¥216,057$
(広報誌充当可能割合確認票を参照)

お客様No. 009495

営業 000601

領 収 証

No. 343101-1

渡久地修 様

日 付	2024年01月25日
金 額	¥217,800※

上記の通り正に領収致しました。

入金内訳

内 訳	金 額	摘 要
現金	¥217,800	県政報告だより

丸正印刷株式会社

〒903-0211

沖縄県西原町小那覇1-5-10

TEL 098-835-8181 FAX 098-835-8184



年月日：2024年(R6)1月29日

広聴広報費

充当額：¥170,975

内容：「とくちおさむ県政報告だより 108号」郵送代金

充当可能割合：¥172,354 × 99.2% = ¥170,975

(広報誌充当可能割合確認票を参照)

領 収 書

郵便局

(住所氏名)		領収内訳	
渡久地 おさむ 様		現金	172,354 円
		社カレシ	円
		証紙	円
		切手	円
		小切手	円
領収金額	億	千	百
	十	万	千
	百	十	円
	円		
内訳		8%	(内消費税)
		10%	(内消費税)
			非課税
(販売等内訳)		種類	1通の料金
切手	円	区内特別	70
郵便費(年賀・年賀以外)	円	第一種定形	84 円
収入印紙	円	通数	割引額
販売品	円	2371	
別納料金	円	76 通	円
料金計器予約金	円	領収日付印	
上記のとおり、領収いたしました。2024年1月29日		取扱局	那覇中央 郵便局
日本郵便株式会社 〒100-8792 東京都千代田区大手町二丁目3番1号 登録番号：T1010001112577		担当者印	
お問い合わせ電話番号 098-832-7602		6.1.29 12-18	

ユ07001 (2023・SCP)

金額を訂正したものは無効です

A010361-06

年月日：2024年(R6)2月7日

広聴広報費

充当額：¥144,584

内容：「渡久地修県政報告だより 108号」ポスティング代

充当可能割合：¥145,750 × 99.2% = ¥144,584

(広報紙充当可能割合確認票を参照)

領 収 証

No 000678

渡久地 修 様


令和6年2月7日

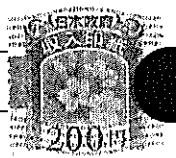
下記の通り領収致しました

¥ 145,750-



那覇営業所/〒902-0075 沖縄県那覇市国場2-6-8番地
 TEL.098-851-8100 FAX.098-851-8232
 本社/〒900-0015 那覇市久茂地2-2-2(タイムズ)
 沖縄タイムスサービス

担当  登録番号 T5-3600-0102-1120

品名	数量	単価	金額			備考
渡久地修県政報告	26500	5.0	1	32	50.0	1A西平
だより第108号 西平事務						
消費税10%					13250	
合計					145750	

広報紙充当可能割合確認票

議員名

渡久地 修

広報紙名	紙面割合
県議団だより 4月号外	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 0cm^2 ① $0\text{cm} \times 0\text{cm} = 0\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (0\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 1 \approx 100/100$以下
とぐちおさむ 県政報告だより 第105号	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 90cm^2 ① $10\text{cm} \times 9\text{cm} = 90\text{cm}^2$ ●充当可能割合: $1 - (90\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 0.9639 \approx 96.3/100$以下
とぐちおさむ 県政報告だより 第106号	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 11.4cm^2 (① $3\text{cm} \times 3.8\text{cm} = 11.4\text{cm}^2$) ●充当可能割合: $1 - (11.4\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 0.9954 \approx 99.5/100$以下
とぐちおさむ 県政報告だより 第107号	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 43.8cm^2 (① $3.9\text{cm} \times 4.7\text{cm} = 18.4\text{cm}^2$ ② $4.7\text{cm} \times 5.4\text{cm} = 25.4\text{cm}^2$) ●充当可能割合: $1 - (43.8\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 0.9824 \approx 98.2/100$以下
とぐちおさむ 県政報告だより 第108号	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $29.7\text{cm} \times 21\text{cm} \times 4\text{面} = 2494.8\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 18.4cm^2 (① $3.9\text{cm} \times 4.7\text{cm} = 18.4\text{cm}^2$) ●充当可能割合: $1 - (18.4\text{cm}^2 / 2494.8\text{cm}^2) = 0.9926 \approx 99.2/100$以下
県政報告の案内 (郵便はがき)	<ul style="list-style-type: none"> ●全体面積: $14.8\text{cm} \times 10\text{cm} \times 1\text{面} = 148\text{cm}^2$ ●充当対象外記事: 面積計 = 50.1cm^2 (① $0.6\text{cm} \times 7.4\text{cm} = 4.5\text{cm}^2$ ② $5.7\text{cm} \times 8\text{cm} = 45.6\text{cm}^2$) ●充当可能割合: $1 - (50.1\text{cm}^2 / 148\text{cm}^2) = 0.6615 \approx 66.1/100$以下

平和構築を再び戦場的な取組にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書

令和4年12月16日に閣議決定された国家安全保障戦略、国家防衛戦略強化及び防衛力整備計画の3つの文書には、反撃能力の保有、防衛体制強化のための南西地域域の空港・准空港の整備、強化及び第15旅団を師団に改編すること等、沖縄の軍事負担を強化する内容が記述されている。また、沖縄本島及び宮古及び石垣地域の地下化及びミサイル配備、航空自衛隊那覇基地の地下化及び沖縄市の弾薬庫建設等、本県の軍事要基化も進んでいる。

太平洋地域の安全保障環境が厳しさを増していると言われている中、軍事力機能の増強による抑止力の強化がかえって地域の緊張を高め、不測の事態が生ずる危険性が増すこととへの懸念は拭えない。また、反撃（敵基地攻撃）能力による攻撃は、相手国からのミサイル等による報復の招くに広がり、沖縄が再び「標的」とされる」との不安が県民の間に広がっている。

当該3文書は、中国の対外的な姿勢や軍事動向等を国際社会の平和と安全への最大の戦略的挑戦と位置づけ、南西諸島への軍事事的機能の増強が進んでいる現状は、明らかに中国を意識したものである。

一方、日本と中国はこれまで「日中共同宣言」をはじめ、「日中平和友好条約」、「日中共同宣言」、「戦略的互恵関係の包括的推進に関する日中関係のさらなる深化と諸問題の解決を進め、平和共存の道を歩んでいく」という一層の取組について強く要請する。

中国は今や日本にとって最大の経済パートナーで、お互いにとって必要不可欠な関係が既に構築されていることから、日中両国は、国民の命や安全、緊張緩和と信頼醸成を図り、平和構築への努力を払うべきである。

よって、沖縄県議会は、日本政府に対し、対話と外交による平和構築への一事項について強く要請する。

1. アジア太平洋地域域の緊張を強め、沖縄が再び戦場になることにつながる南西地域へのミサイル配備の積極的な役割を果たすこと、外交対話による平和の構築に確信されたこと
2. 日中両国において問題を解決することにより、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年3月30日

議長	副議長	議長	議長	議長	議長
院議	院議	院議	院議	院議	院議
総務	総務	総務	総務	総務	総務
衛生	衛生	衛生	衛生	衛生	衛生
内閣府	内閣府	内閣府	内閣府	内閣府	内閣府
内閣府	内閣府	内閣府	内閣府	内閣府	内閣府

(沖縄及び北方対策)

沖縄が再び戦場にならないよう、軍事力による抑止ではなく、外交と対話による平和の構築を

沖縄県議会が意見書を可決

沖縄県議会は3月30日、与党が提出した「沖縄を再び戦場にしらないよう日本政府に対し、対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書」を与党と無所属の会々名の賛成多数で可決しました。自派は反対、公明と無所属議員1名は退席しました。

日本共産党県議団を代表して渡久地修団長が賛成討論を行いました。賛成討論の要旨を紹介し、意見書は4面に掲載。

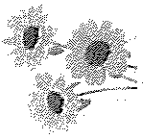
日本共産党県議団より
2023年4月
日本共産党県議団
098-866-2756

岸田政権は去年の12月に安保3文書を閣議決定だけで改定しました。与党の意見書案は、この3文書改定によって、敵基地攻撃(反撃攻撃)能力の保有によって、沖縄が再び戦場にされるのではないかと県民の間で不安が広がっているとして、軍事力による抑止ではなく、外交と対話による平和構築を求めています。これに対して野党自民党会派案は、3文書の決定、反撃能力の保有、防衛体制整備など、評価されるものであるとして、さ

らに、防衛力の整備、強化などで抑止力を高めることを求めています。専守防衛を覆すもの
去年の安保3文書は、これは、歴代の政権が一貫して否定してきた敵基地攻撃能力、反撃能力の保有を打ち出したことで、日本は集団的自衛権の行使としてアメリカの戦争に参加をし、相手国領域にミサイル攻撃などが

できるよつになります。まさに、これまでの政府の専守防衛を根拠から覆すものとなっています。今、奄美から沖縄本島のうるま市、宮古、石垣、与那国へのミサイルの配備、沖縄市への弾薬庫の設置などが一気に進められようとしています。そして、全国で、核兵器、生物、化学兵器攻撃に耐えられるような自衛隊基地の地下化と強硬化が進められようとしています。沖縄でも、自衛隊第15旅団が師団に格上げされ、自衛隊那覇群

地の地下化、石垣分屯地の地下化をはじめ、核、生物、化学兵器攻撃に耐えられる強硬化計画も進められようとしています。まさに沖縄や全国が戦場になることを想定した動きではないでしょうか。沖縄が再び戦場にされるのではないかと、県民の間で、78年前の悲惨な地上戦に突入して行った戦前のような不安が広がっています。



戦前と重なる 危険な動き

78年前の沖縄戦はどうだったのか。

米軍が沖縄に上陸する1年前の1944年3月、南西諸島方面の防衛強化のために沖縄守備軍第32軍が創設されました。

沖縄を不沈空母として軍事要塞化するため奄美から沖縄まで住民を動員して飛行場の建設が進められました。

陸軍伊江島飛行場 陸軍北飛行場（読谷） 陸軍中飛行場（嘉手納） 陸軍南飛行場（浦添） 陸軍東飛行場（西原） 陸軍石垣飛行場 海軍小禄飛行場 海軍与根飛行場 海軍南大東島飛行場 海軍宮古島飛行場 陸軍宮古島中飛行場 陸軍宮古島西飛行場 海軍石垣島平野飛行場 海軍石垣島北飛行場 陸軍石垣島飛行場 陸軍石垣島高良飛行場、合計16か所が沖縄県内に造られました。

海軍航空隊古仁屋基地（奄美大島） 海軍界島飛行場 陸軍北飛行場（徳之島） 陸軍南飛行場（徳之島）と4か所、沖縄と奄美で合計20か所の飛行場が造られました。

首里城の地下に日本軍沖縄守備隊第32軍司令部壕を造り、本土防衛のための持久作戦が実行されました。

その結果どうだったのか。「沖縄は国因り唯一、一般住民を巻き込んだ熾烈な地上戦の場となった。『鉄の暴風』とも形容される戦火の下で、沖縄県民は想像を絶する極限状態を経験し、20万人余の貴重な生命と貴重な文化遺産を失ったのです。」

今進められている、南西諸島の防衛力強化としての、自衛隊の増強、自衛隊基地の地下化、強固化、奄美、沖縄、宮古、石垣、与那国にミサイルを配備する動きなど、78年前の沖縄戦の悲劇を引き起こした、戦前の動きと全く重なって見えるではありませんか。

長射程ミサイル配備

防衛力整備計画では、長射程ミサイルについて、1・2式地对艦誘導弾能力向上型、島嶼防衛用高速滑空弾及び極超音速誘導弾をはじめ、各種誘導弾の長射程化を実施する。それから米国のトマホークをはじめとする、外国製スタンドオフミサイルを導入するとしています。これらのミサイルの射程は、1000キロから3000キロ程度とされており、その3000キロ以内には、中国の北京、上海、韓国のソウル、台北、北朝鮮の平壤があります。

このようなミサイルが沖縄に配備されると、逆に相手側も沖縄を狙ってまた配備する。果てしない軍拡競争に突入り、常に一触即発の危険にさらされることとなります。

日本が攻撃されていないのに米国の戦争に参加

今、台湾有事が盛んにあおられていますが、一番怖いのは、日本が攻撃されていないのに米軍と一緒にアメリカの戦争に参加していく。その結果、沖縄が標的になり攻撃される危険があるということです。

これについて当のアメリカ側はなんとおっしゃるのでしょうか。

2023年1月の米国連邦議会調査局・CRSの報告書は「中国が台湾を攻撃する場合、日本の南西諸島に近い場所で軍事作戦を行う可能性が高い」と、「仮に米軍が台湾有事に介入する場合は、在日米軍基地が関与する可能性があり、その場合、日本は中国の攻撃目標になる可能性がある」と警告しています。

同じく2023年1月の戦略国際問題研究所・CSISの中国による台湾侵攻を想定したシミュレーションの結果報告書では、「中国が台湾に侵攻し、米軍が介入した場合、米軍が勝利するには在日米軍基地を使用する必要があること、それから勝利した場合でも日本に甚大な人的・物的損失が生じる」と、「特に、沖縄では多数の防空ミサイルが配備されていたにもかかわらず、

中国のミサイルによって多くの航空機が地上で破壊されることや、嘉手納飛行場は破壊された多数の航空機、多くの遺体を埋葬する仮設墓地を有するようになる」としています。

このように、台湾有事に米軍が介入したら、日本が攻撃基地になり、逆に標的になり攻撃される恐れがあり、特に、この沖縄がその最前線となつて、その結果、甚大な被害を受け、多くの人命を失うことになってしまふことをアメリカ自身が指摘しているのです。

戦争は絶対に起こしてはなりません。戦争が始まる前に止めなければなりません。

ですから、与党提出の意見書では、1、アジア太平洋地域の緊張を高め、沖縄が再び戦場になることにつながる、西四地域へのミサイル配備など、軍事力による抑止ではなく、外交対話による平和の構築に積極的な役割を果たすこと、2つ目に、日中両国において確認された諸原則を遵守し、両国間の友好関係を発展させ、平和的に解決することを求めているのです。

友好関係の発展と平和的外交での解決

1972年の日中共同声明においては、両国間の「不正常な状態」が終結され外交関係が樹立し、両国が平和友好関係を確立し国連憲章の原則を守ること等が宣言されました。

1978年の日中平和友好条約は、「主権及び領土保全の相互尊重、相互不可侵、内政に対する相互不干渉、平等及び互恵並びに平和共存の諸原則の基礎の上に、両国間の恒久的な平和友好関係を発展させるものとする」と「相互の関係において、すべての紛争を平和的手段により解決し及び武力又は武力による威嚇に訴えないこと」などが確認されています。

1998年には、「平和と発展のための友好協力パートナーシップの構築に関する日中共同

宣言、2008年には、「戦略的互恵関係」の包括的推進に関する日中共同声明」が宣言されています。

与党提出の意見書は、これまでの日中間で取り交わされてきた、諸原則を遵守し、友好関係の発展と平和的な外交による解決を求めているのです。

このことは、去年の2月議会から陳情・請願審査の中で議論し、毎議会ごとに意見書の提出を野党、中立会派のみならずにも呼びかけてきたものです。

沖縄を絶対に戦場にさせてはならない

今、日本は戦争か平和かの重大な岐路に立っていると私は思います。

そして今、日本が行くべきは、軍事力の大増強ではなく、平和的な外交手段を強化することです。

ASEANの平和共同体のよう、紛争を戦争に発展させない、東アジアの平和の共同体の構築に全力をあげるべきであります。

沖縄県も、沖縄を再び戦場にさせないと、地域外交堂を設け、沖縄を平和の発信拠点にするために新たな取組も開始します。

沖縄県議会としても、沖縄を絶対に戦場にさせてはならないとの立場から、今の危険な動きにストップをかける決意が求められているのではないのでしょうか。

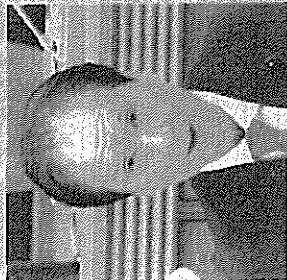
よって、与党提出の議員提出議案第1号、「沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書」に賛成し、野党、自民党会派提出の議員提出議案第2号「わが国の平和を維持するための外交、防衛政策の推進を求める意見書」に反対するものです。

議員各位の賛同をお願いいたします。

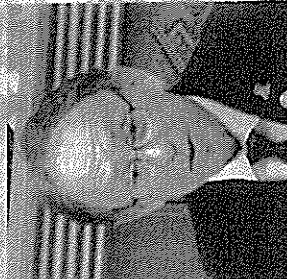


戦争の準備ではなく平和の準備を

「県独自の平和的な地域外交の推進を」——渡久地修県議が質問



質問する渡久地修県議団团长



答弁する玉城アニー知事

二度と沖縄を戦場にさせない決意で 全身全霊で取り組んで行く」と知事が答弁

日本共産党 渡久地修県議団团长は、3月2日に県議会の一般質問で、岸田内閣の進める大軍拡が78年前の沖縄戦に突入して行った動きと全く同じだと具体的な事例をあげて警鐘を鳴らした。

また、沖縄を戦場にさせないために、積極的な自治体外交を、知事が先頭にたつて行うことや、ASEAN関連の会議の沖縄への誘致などを改めて提案しました。

知事公室長は、「アジア太平洋地域の緊張緩和と信頼醸成に寄与することを目的とする、アジア太平洋地域平和連携推進事業を実施している。新たに設置する地域外交基本方針（仮称）も踏まえ取り組んでいく」と答弁しました。

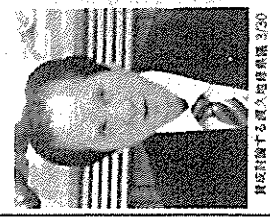
玉城アニー知事は、「二度と沖縄を戦場にすることはならない」との決意を改めて表明するとともに、アジア太平洋地域にわたる平和構築に貢献するたため、本県が有する多様なソフトパワー、ネットワークを活用した独自の地域外交に県民全霊で取り組んでいく」と答弁しました。

「沖縄を再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取り組みを求める意見書」可決

県議会は3月30日、与党提出の下記の内容の意見書を与党と無所属の会の賛成多数で可決。公明は退席、自民は反対しました。

渡久地修県議団团长が賛成討論を行いました。

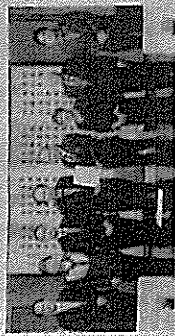
1. アジア太平洋地域の緊張を強め、沖縄を再び戦場になることにつながる南西地域へのミサイル配備など軍事による抑止力ではなく、外交と対話による平和の構築に積極的な役割を果たすこと。
 2. 日中両国において確認された諸原則を遵守し、両国間の友好関係を発展させ、平和的に問題を解決すること。
- あて先は、内閣総理大臣、衆参両院議長らとなっています。



賛成討論する渡久地修県議 3/30

2023年度予算編成要望書を知事に提出

1月6日、日本共産党県議団は2023年度の予算編成について、308項目の要望書を玉城アニー知事に提出。玉城アニー知事は「誰一人取り残さない沖縄らしい社会、安全安心で幸福が実感できる沖縄の実現と、沖縄を再び戦場にさせない強い思いで対応したい」と述べました。



琉球漆器の学校給食食器の拡充を

琉球漆器産業はきわめて厳しい状況にあるとして県としての支援策を求め、また、琉球漆器の学校給食用食器の普及について質問しました。

アニー知事は、漆器と食器という組み合わせを機ををつくるのは非常に重要。関係部局、教育委員会と協力しながら、検討していきたい」と答弁しました。

石垣市の大規模ゴルフ場計画

優良農地が失われ、周辺農業や牧草の自給にも大きな影響を与えるととして、農地転用は許可すべきでない」と質問しました。

私立夜間中学の認可を

私立夜間中学校「珊瑚舎スコーレ」の設置認可について、知事が文科省に要請し「柔軟な対応が可能」との考えが示された。県としても一緒に認めてほしい」と取り組むべきと質問。部長も「必要な助言を行ってほしい」と答弁しました。

龍頭棟師製作は壺屋陶器組合に

県民の力で復元、伝統工芸産業、県内技術者育成の方針からしても、壺屋陶器事業協同組合を中心に質問しました。

土木部長は、「壺屋陶器事業協同組合等県内技術者と緊密に連携を図り、今後、監修会議に諮り決定したい」と答弁しました。

御茶屋御殿の復元を

調査の進捗状況と復元方針について質問。土木部長は、「現在、既存資料の収集整理や事業手法の検討、引き続き予定地の調査、関係機関及び関係者へのヒアリング等を実施する」と答弁しました。

アニー知事第3次訪米行動

アニー知事が第3次の訪米行動を行いました。3月6日の空港での出発激励式では、渡久地修県議団团长が、「沖縄を戦場にさせない」と、県民の思いを伝えてほしい」と激励の挨拶を述べ、アニー知事が、しつかりと県民の声を届けると決意を表明しました。



「ちほりよーアニー知事へ 沖縄の民意を米国へ」



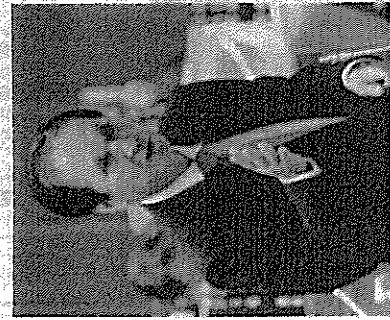
沖縄を戦場にさせない

「...昨年12月から沖縄の戦場化阻止を断頭で訴え続ける渡久地修県議（共産）...」

「...サイバー空間の整備計画など現在の自衛隊の動きが、日本の飛行場整備など「戦前の動きと重なる」と危惧し、正月は約100万羽を減らす」として、今議会で県に危機感を訴えたところ、質問終了直後に傍聴者から質問の連絡があり「沖縄を戦場にさせない」と声を大にして訴えないといけない」と改めて誓いを新たにした渡久地修県議にもより力が加わった。

渡久地修県議事務所生舌相談は、098-885-4785

敵基地攻撃能力保有「新」 自衛隊基地の地下化、ミサイル配備



一般質問する安倍首相 3/2

3月2日の衆議院一般質問で、岸田政権は、敵基地攻撃能力の保有を決定し、沖縄への自衛隊ミサイル配備など、沖縄を軍事要地として位置付けているが、これは戦前、日本軍が20カ所の飛行場を建設し、沖縄を不沈空母として本土防衛の持て石作戦を展開していた動きと同じだ。「新たな戦前の始まり」など番道を築きました。(右の表を参照)

日本が攻撃されていないのに アメリカの戦争に参加。

台湾有事が盛んにあおられているが、今もつとも危険なのは、日本が攻撃されていないのにアメリカの戦争に参加してしまうことだと指摘。の結果、沖縄が標的に攻撃されてしまうことと指摘。

知事公室長は、「戦略国際問題研究所(CSIS)が、今年1月に公表した中国による台湾侵攻を想定したシミュレーションの結果報告書によると、中国が台湾に侵攻し、米軍が介入した場合、米軍が勝利する際には巨米軍基地を使用する必要があり、それが勝利した場合同様に、米軍が配備されたにもかかわらず、米軍が勝利する。特に、沖縄では多量の航空機が地上で破壊されることや、嘉手納飛行場は破壊された多量の航空機、多くの遺体を埋蔵する仮設基地を有するようになることと、沖縄における甚大な被害が記述されている」と答弁しました。

沖縄を再び戦場にさせてはならない 捨て石にさせてはならない

田日本軍32軍司令部
第5坑口周辺の土地取得
基本方針・計画策定へ

「第5坑口周辺の土地取得は完了。第1坑口の床面も確認できおおよその坑口の位置を推定できる。有識者委員会からの提言を受けて、基本方針、計画を策定する」と答弁しました。



2009年5月の様子

今

産田政権の動き
自衛隊の大増強
沖縄第15旅団を師団に格上げ

ミサイル配備
奄美から沖縄本島、宮古、八重山、与那国へ配備

那覇基地を地下化
自衛隊那覇基地の地下化、首里城の地下に壕を掘って日本軍32軍司令部を設置

沖縄を要塞化
敵基地攻撃能力の最前線基地として要塞化

台湾有事の際、沖縄・日本が
出撃拠点に
米軍が勝利するには在日米軍基地を使用する必要

その結果
「嘉手納飛行場は破壊され、多くの航空機が地上で破壊されること、嘉手納飛行場は破壊された多量の航空機、多くの遺体を埋蔵する仮設基地を有するようになる」と答弁しました。

戦前

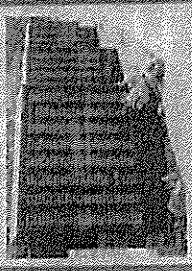
日本軍の動き
日本軍の増強
1944年3月、沖縄第32軍を編成

飛行場建設
奄美から沖縄本島、宮古、八重山に20カ所の日本軍飛行場を建設

地下司令部建設
首里城の地下に壕を掘って日本軍32軍司令部を設置

沖縄を不沈空母に
沖縄を本土防衛の持久戦の持て石作戦として実行

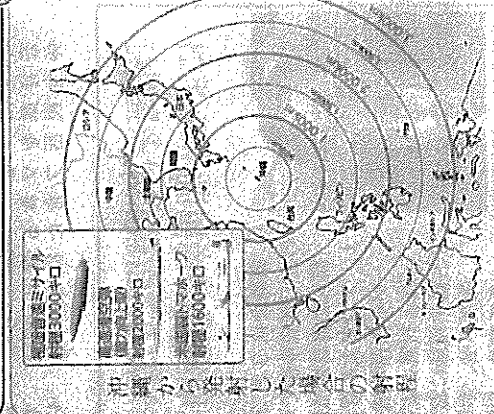
その結果
沖縄は国内で唯一、一般市民を巻き込んだ戦況が地上戦の場となった。「鉄の暴風」とも形容される戦火の下で、沖縄県民は、想像を絶する苦悶状態を体験し、20万人余の犠牲を生じ、貴重な文化遺産を失った。



2009年5月の様子

「新たな戦前の始まり」 戦前、日本軍が 沖縄・奄美に建設した飛行場

1	陸軍伊江島飛行場 (伊江島飛行場・伊江島飛行場)
2	陸軍北飛行場 (北飛行場)
3	陸軍中飛行場 (嘉手納飛行場・皇民飛行場)
4	陸軍南飛行場 (仲西飛行場・城南飛行場)
5	陸軍東飛行場 (西原飛行場・小浜飛行場)
6	陸軍石川飛行場
7	海軍小笠原飛行場
8	海軍与那国飛行場
9	海軍南大東島飛行場
10	海軍宮古島飛行場
11	陸軍宮古島中飛行場
12	陸軍宮古島西飛行場
13	海軍石垣島平野飛行場
14	海軍石垣島北飛行場 (平野名飛行場)
15	陸軍石垣島飛行場 (白灰飛行場)
16	陸軍石垣島皇民飛行場
17	海軍奄美大島飛行場 (古仁屋軍地)
18	海軍豊原島飛行場
19	陸軍徳之島北飛行場
20	陸軍徳之島南飛行場



沖縄が戦場になることを想定した

自衛隊那覇基地司令部の地下化計画

6月29日の県議会一般質問で告発



「沖縄が攻撃目標になることは決してあつてはならない」と答弁しました。

「沖縄が攻撃目標になることは決してあつてはならない」と玉城正一知事

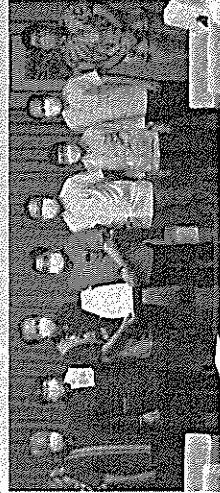
差田政権が敵基地攻撃能力の保有に加え、沖縄が攻撃され戦場になっても戦い続けることができるように、自衛隊那覇基地の司令部などの地下化を計画していることを告発しました。

自衛隊の内部資料では、高高度での核爆発にせむぎ電磁ハルス(HEMP)や、核生物・化学兵器(CBRN)攻撃に耐えられるように、自衛隊那覇基地の近代的な強固化を進めるため、今年度、那覇基地の司令部と那覇基地病院の地下化のための予算、調査費をそれぞれ1億円を計上していることが明らかになりました。

安保3文書改訂によつて、日本が攻撃されていないのに、アメリカの引き起こす戦争に参加することになり、その結果、沖縄が標的になり攻撃されることが現実問題になることとして懸念を告げました。

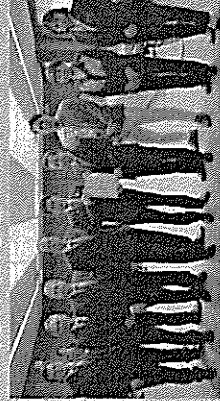
玉城正一知事は、「米軍基地が集中していることに加え、自衛隊の急激な配備拡張による抑止力の強化がえつて地域の緊張を高め、不測の事態が生ずることを懸念しており、ましてや沖縄が攻撃目標になるようなことは決してあつてはならない」と答弁しました。

新型コロナウイルス対策で県に緊急要請



7/6 那覇市自里赤平町1-4-1
県議団として新型コロナウイルスの感染が拡大している下で、緊急の対策10項目を県に要請。県からは池田副知事が対応しました。

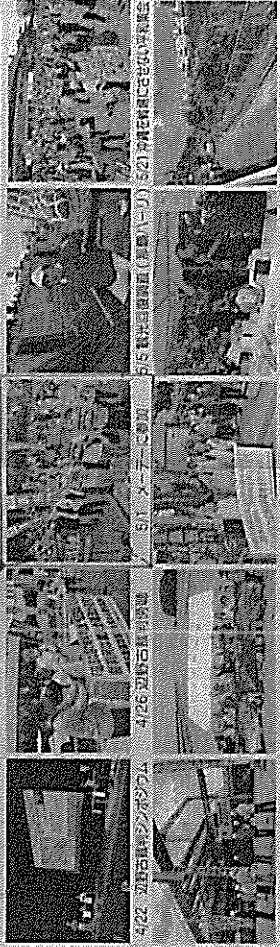
「対話と外交で平和構築を」 県議会意見書案を政府に手交



4/24 那覇市自里赤平町1-4-1
「沖縄を再び戦場にしない」よる日本政府に対し対話と外交による平和構築の積極的な取組を求める意見書案を政府に手交。

与党県議団の合同の自衛隊ミサイル基地調査

与党県議団は、ミサイル配備と自衛隊基地増強の実態調査と住民との意見交換を実施しました。

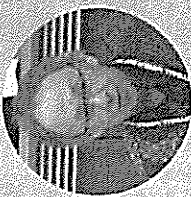


記者のメモ
無駄使いの極み
記者のメモ
不発弾問題風化させず
記者のメモ
琉球漆器で給食を

記者のメモ
無駄使いの極み
記者のメモ
不発弾問題風化させず
記者のメモ
琉球漆器で給食を

「対話と外交による平和構築を求める書簡」 知事から中米日の首脳に送付を提案

沖縄を戦場にさせないために、どうするかと問いかけ、日中間ではこれまで条約や話あい、様々な問題を対話によって解決することや、互いの尊厳にかなわないことなどが確認されている。尖閣諸島問題でも、対話と協議を通じて不測の事態の発生を回避することで一致してきた。「対話と外交による平和構築」の工台はあると指摘し、その立場から、中国、アメリカ、日本の首脳に、沖縄県知事から対話と外交による平和構築をとの書簡を送ることを提案。



知事は「当然検討する」と答弁しました。

これまでの日中間の条約、宣言、声明、合意事項

- ▶1972年9月、「日本国政府と中華人民共和国政府の共同声明」
「両国が平和友好関係を確立し国連憲章の原則を守ること」等が宣言された
- ▶1978年8月、「日本国と中華人民共和国との間の平和友好条約」
「相互の国境において、すべての紛争を平和的手段によって解決し及び武力又は武力による威嚇に訴えない」ことなどが謳われている
- ▶1998年11月、「平和と発展のための友好協力パートナーシップの構築に関する日中共同宣言」
「世界の平和と発展ひいては人類の進歩という事業のために積極的な貢献を行っていく」ことなどを宣言。
- ▶2008年5月、「戦略的互恵関係の包括的推進に関する日中共同声明」
「双方はお互いに協力のパートナーであり、互いに信頼とならぬこと」が確約された。
- ◆2014年、「日中間関係の改善に向けた話合いにおける4つの合意事項」
第3項目において、「双方は尖閣諸島等東シナ海海域において、近年緊張状態が生じていることについて異なる見解を有している」と認識し、対話と協議を通じて、情勢の悪化を防ぐとともに、危機管理メカニズムを構築し、不測の事態の発生を回避することと意見の一致をみた」としている。

沖縄県地域外交の体制強化を提案

戦後78年たつて新たな戦前の始まりと言われるほど、平和が脅かされている状況の下で、沖縄を再び戦場にさせないための、沖縄県独自の自治体外交に強める必要がある。地域外交の体制を今の情勢に即して強化すべきだと提案しました。

知事は、「全庁的に取り組むための連携も重要であり検討したい」と答弁。その後、知事は来年度、課に格上げしたいと表明しました。



ゆいレール3両化、8月10日スタート

3両化の実現と前倒し実施を求め続けてきましたが、8月10日から実施する委員会が答弁がありました。また、観光客で混雑する空港駅のエレベーターの大型化を求めました。



6月29日の一般質問の内容を中心に紹介します

新型コロナウイルス対策の強化

今の感染状況は異常事態だ、知事を先頭にコロナ対策本部の体制を急ぎ構築すべき指摘しました。

保健医療部長は、「知事を筆頭とした新型コロナウイルス対策本部を設置し、全庁的な体制を維持し、医療コアーネットワークの再構築を行うとともに、状況を迅速に把握するため医療・介護の現場の意見を聴取するタスクフォースを設置した。

6月26日に新型コロナウイルス感染症対策ステーションを立ち上げ、医療提供体制を強化した。引き続き全力で対策に取り組んでいく」と答弁しました。



揮発油税の軽減措置の延長を

来年5月までの期限である軽減措置が切れただけで、子ども生活福祉部長は、「県内産業への影響額は32.1億円、家計への影響額は24.1億円、産業界への影響額は8.9億円、県全体で年間約65.1億円の増徴が推計される」と答弁しました。

沖縄の産業とくらしを守るために延長を求めべきと指摘。総務企画委員会では、県議会としても延長を求める意見書を9月議会に採択すべきと提案しました。

トマホーク ミサイル

アメリカで一発・2億6千万円を、日本は一発・5億2千万円で購入する。米田政権は米国からトマホーク400発を購入しますが、米国では一発2億6千万円、日本が購入する額は単純計算で一発5億2千万円、約2倍になり、約2倍の費用で明らかになりました。

また、5億円あれば、100人規模の保育所が1カ所建設できることも答弁で明らか。米国製トマホーク1発1600キロになりました。



「不発弾問題等を考える日」の制定を

2011年9月議会で、不発弾処理の前編容器の導入を提案していましたが、この導入されることになった経緯と効果について質問。また、沖縄県と不発弾問題を風化させないために「不発弾問題等を考える日」の制定を提案。

公室長は、「米軍5インチ空軍砲弾の不発弾で避難半徑が約25メートルに短縮される」とし、「不発弾問題を考える日」については、沖縄県不発弾等対策協議会に提案し検討すると答弁しました。



現在の処理方式

サイパン、テニアンとの交流強化を

サイパン、テニアン懸置式への参加と、州、市との意見交換、調査で寄せられた、沖縄との交流、農業支援などの要望について質問。文化スポーツ部長は、「様々な分野で交流を図っていく」。農水部長は、「研究機関への研修生の受け入れが可能」と答えていると答弁しました。

また、沖縄県とともに、南洋諸島の悲惨な戦争の歴史を継承し、交流を深めるためにも懸置式と交流の取組に県からも参加した方がいいと提案しました。

王城知事は、「沖縄からも多くの方々に移り住み生活し、南洋で生まれおささんもある。サイパン、テニアン、グアムなど太平洋島嶼地域と技術的・人的な交流の機会をもっとついでいくべき。



県庁の職員も参加も含めて、現地の交流を重ねていきたい」と答弁しました。